

「入国審査待ち時間20分以内の達成率」の計測について

入国審査待ち時間に関する計測方法



【入国審査待ち時間】＝ ④上陸許可時刻 － （①スポット・イン時刻＋②場外での共同キオスク利用時間＋③入国審査場までの移動時間）

（注）②については、入国審査場の場外に設置した共同キオスクを利用した外国人乗客に限る。

入国審査待ち時間20分以内の達成率の計測方法

【計測対象者】 上陸審査ブースにおいて、観光、短期商用、親族訪問等の短期間の入国を目的として在留資格「短期滞在」により上陸許可を受けた外国人乗客

（注）「留学」、「日本人の配偶者等」など中長期にわたり日本に在留することが予定されている方や再入国許可により入国する方等は含まない。

【計測方法】 計測対象となる外国人乗客の総数から、入国審査待ち時間20分以内に上陸許可を受けた計測対象者総数の割合を計測

$$\text{【入国審査待ち時間20分以内の達成率】} = \frac{\text{入国審査待ち時間20分以内に在留資格「短期滞在」で上陸許可を受けた者の総数}}{\text{在留資格「短期滞在」で上陸許可を受けた者の総数}}$$

最長入国審査待ち時間の推計方法

【計測対象者】 「入国審査待ち時間20分以内の達成率」の計測対象者に同じ。

【計測方法】 外国人乗客の全てが降機後入国審査場に直行するものではないことから、原則として、到着便ごとに推計対象者の80%の入国審査が終了した時点での入国審査待ち時間に8分の10を乗じたものを、その便の最長入国審査待ち時間（推計値）とする。

（注）ただし、大規模ターミナル（7大空港（那覇空港LCCターミナルを除く。））では、検証の結果、到着便が輻輳した際に審査場に直行しない乗客が後続便の乗客の後ろに並ぶなどして、乗客の入国審査待ち時間に8分の10を乗じることで実態以上に長い入国審査待ち時間が計測されていることが判明した。そこで、大規模ターミナルにおける輻輳による影響を除外した入国審査待ち時間を試算したところ、原則どおり推計した時と比べ約20%短いことが確認されたことから、大規模ターミナルにおいては、推計対象者80%の審査が終了した時点での入国審査待ち時間を最長入国審査待ち時間（推計値）とすることとした。